

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学医学部法医学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の疫学研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2018年6月

福島県立医科大学医学部法医学講座 講座主任 原田一樹

【研究課題名】 福島県からみた遠隔地の法医解剖検例における甲状腺癌の頻度

【研究期間】 2018年6月（承認後）～2028年5月

【研究の意義・目的】

1986年のチェルノブイリ原子力発電所事故後、放射能汚染により小児の甲状腺癌発生が増加したといわれています。そのため、2011年の福島第一原子力発電所事故後から、小児に対して甲状腺の超音波検査が行われています。

当講座では福島県内の法医解剖例における甲状腺癌、腺腫、甲状腺炎等の甲状腺疾患の頻度について研究中です。これに加え、慢性低線量被曝の影響について検討するためには、遠隔地における法医解剖例での甲状腺疾患の頻度を調べて比較する必要があります。

金沢医科大学は石川県の主に能登地方の法医解剖を実施しています。能登地方は福島第一原子力発電所から約320～390 km離れており、事故の影響がない地域と考えられます。

福島県全域と石川県能登地方の法医解剖例における甲状腺疾患の頻度を比較することで、慢性低線量被曝の影響について検討することを本研究の目的としています。

【研究の対象となる方】

金沢医科大学で法医解剖が実施された方

【研究の方法】

金沢医科大学医学部法医学講座において解剖時に摘出した甲状腺、あるいは死因究明のため保管されている甲状腺について、顕微鏡検査を行います。個人情報には匿名化し、性別・年齢・病変等についてデータベースを作成します。作成したデータベースを分析し、甲状腺疾患の頻度について福島県内における研究結果と比較します。

【研究組織・研究機関名】

研究責任者（所属）本学法医学講座（職）教授（氏名）原田一樹

主任研究者（所属）本学法医学講座（職）准教授（氏名）西形里絵

研究分担者（所属）本学法医学講座（職）医療技師（氏名）林王真美

共同研究機関の研究責任者（所属）金沢医科大学法医学講座（職）教授（氏名）水上創

共同研究機関の研究分担者（所属）金沢医科大学法医学講座（職）助教（氏名）小林正宗

共同研究機関の研究分担者（所属）金沢医科大学法医学講座（職）助教（氏名）竹下裕史

【人体から採取された試料等の利用について】

甲状腺の顕微鏡検査を行います。

【他の機関等への試料等の提供について】

甲状腺および匿名化した情報を金沢医科大学法医学講座から福島県立医科大学法医学講座へ提供しますが、他の機関への試料や情報等の提供はありません。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人 福島県立医科大学 医学部 法医学講座 担当 西形里絵

電話：024-547-1185 FAX：024-549-3874